



つなげる笑顔 つながる心

メディアの力でできること∞
無限大

フジ・メディア・ホールディングス CSR NEWS

フジ・メディア・ホールディングスは多様なメディアの集合体です。各社業態は異なりますが、共通する思いは「創造する力」を通じて人と人をつなぎ笑顔をつくること。社会の一員としてどんな課題の解決に結びつけられるかを常に考え、行動し続けます。

2016 JUN Vol.5

緊急
報告

熊本地震への対応

4月14日と16日に震度7を記録した熊本地震を受け、フジ・メディア・ホールディングスでは、放送をはじめ、各社が連携を取りそれぞれの特色を生かした支援活動を行っています。フジテレビは、地震発生直後から特別番組を編成し災害報道を続けたほか、4月18日に「サザエさん募金」を立ち上げました。多くのグループ企業も「サザエさん募金」を番組内やホームページ、開催イベントなどで支援をよびかけました。

直後の放送対応

- **フジテレビ**
 - ・地上波：緊急特別番組 計約21時間 その他L字対応*
 - ・インターネット報道チャンネル「ホウドウキョク」
 - ：地震関連番組約66時間連続で放送・ネット配信
 - **BSフジ**
 - ・フジテレビ報道特番を放送 L字対応*も
 - **ニッポン放送**
 - ・発生直後から随時番組内で情報を更新
- ※L字対応とは：画面のL字型の部分に文字情報などを常時表示すること

放送、募金以外の各社の主な対応（5月末まで）

- **フジテレビ**
 - ・5月2日に避難所2ヶ所にテレビとDVDデッキ、DVDを届ける
 - ・5月30日に中学校3校で「バボちゃん」による応援イベントを開催
- **BSフジ**
 - ・4月22日に益城町の女子サッカークラブにベンチコートとTシャツ約300枚を送り、クラブが各避難所に配布
 - ・DVDを被災地支援用に提供
- **ニッポン放送**
 - ・4月20日に現地にラジオ500台送付
- **ディノス・セシール**
 - ・4月28日に下着約2,500枚、アルファ米1,700食、マスク5,000枚送付
 - ・通販売上の一部を義援金に
- **サンケイビル**
 - ・5月20日に義援金1,000万円を被災地に送付
 - ・東京での熊本物産販売会に無償で会場提供
- **サンケイリビング新聞社**
 - ・熊本リビング新聞社が4月23日に号外75,000部発行
- **ポニーキャニオン**
 - ・DVDを被災地支援用に提供

など

フジ・メディア・ホールディングス各社



©長谷川町子美術館

フジネットワーク サザエさん募金
平成28年
熊本地震被災地救援

募金額(6月6日現在)

1億6,196万979円



▲熊本県益城町
(5月2日)

▼バボちゃんによる応援イベント



▲フジテレビが
避難所に
テレビを設置



▲BSフジから
の支援物資



▲ディノス・
セシールから
の支援物資

共通スローガンの下、各社が力を合わせて行う行動が増えました！

ニッポン放送

第41回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

40年にわたる実績が評価

『全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会(ニッポン放送他)』が、第41回放送文化基金賞、個人・グループ部門[放送文化]を受賞

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、ニッポン放送が1975年から行っている視覚障害者のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イヴからクリスマスにかけての24時間の特別番組を中心に、ラジオを通じて募金と呼びかけるもので、今回が41回目。

このラジオ・チャリティ・ミュージックソンへの協力をフジ・メディア・ホールディングス各社の有志で毎年継続しています。2015年は16社から52人が参加し、募金の電話受付と屋外ステージでの街頭募金活動を行いました。



これまでに
3,017基の
「音の出る信号機」が
設置されました。

実施日：2015年12月24日正午～25日正午
パーソナリティ：V6

最終募金額 **7,351万9,502円**

フジ・メディア・ホールディングス各社

ユニバーサルマナー検定を受講

高齢者や障害者への理解を深めるために

フジ・メディア・ホールディングスの18社62人が「ユニバーサルマナー検定」3級の講習を受け、全員が認定書を受け取りました。「ユニバーサルマナー」とは、高齢者や障害者への適切な対応のことです。

2016年4月には「障害者差別解消法」が施行、2020年には日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。メディアとして、企業として「ユニバーサルマナー検定」を習得することで、多様性への理解を深め、企業活動に活かすとともに、ダイバーシティ社会の実現に向けて貢献できればと考えています。



ユニバーサルマナー検定



フジ・メディア・ホールディングス各社

フジ・メディア・ホールディングス合同清掃活動

毎回70人超、グループ全体のCSR活動として定着

毎年3回フジ・メディア・ホールディングス各社の有志が集まり、お台場エリアの清掃活動を行っています。この活動は2012年10月から始まり、これまでに10回実施。今ではすっかり定着し、参加者は毎回70人を超えています。ホールディングスの“結束力”を感じるとともに、日ごろあまり顔を合わせない人との良いコミュニケーションの場にもなっています。



「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」

福島に美しい桜並木を！これまで635本桜植樹

地震や津波、さらに放射能被害を受けた福島県で、「30年後に子どもたちが誇れる桜並木を」との思いからスタートした「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に、フジ・メディア・ホールディングス各社はディノス・セシールを事務局として2013年度から協賛しています。

2015年度は、グループ合わせて17社が195本の桜を寄贈、これまでの植樹本数は合わせて635本になりました。2016年1月には、参加企業の有志18人が福島県広野町で桜の苗を植えました。



フジテレビ

フジテレビずっとおうえん。プロジェクト

被災地を「ずっと」忘れない

フジテレビでは、2011年の東日本大震災発生後から被災地支援活動を継続して行っています。2015年度は東日本大震災の被災地のほか、水害を受けた茨城県常総市にも赴きイベントを開催。被災地を「ずっと」忘れないという強い思いと、エンターテインメント企業ならではの「支援力」で、“新たなコミュニティづくり”のお手伝いをしています。



2015年度の活動

宮城・岩手・茨城の幼稚園・保育園でイベント 6回

福島の中・高校生に「あなせん」特別授業 4回



福島での「あなせん」特別授業

これまでの活動実績

163ヶ所を訪れ、
約16,880人の笑顔と
出会いました！

フジテレビ・フジール（八美会）

「こども笑顔プロジェクト」

“テレビ美術の力”で子どもたちを笑顔にしたい

フジテレビ美術制作局と美術関連協力会社からなる「八美会」で立ち上げた被災地復興支援活動です。2013年からスタートして、これまでに岩手、宮城、伊豆大島、福島で合わせて5回実施しました。

テレビ美術の裏側を紹介しつつ、地元の子どもたちと「のこぎり体験」や「輪ゴム鉄砲」を作るコーナーも。さらにサザエさんやバカ殿など人気キャラクターに扮して写真撮影を行い、テレビ局ならではの企画で多くの方に楽しんでいただいています。

こども笑顔プロジェクト
テレビ美術やさぐー！



「言葉のプロ」の出前授業

技術と初コラボ実現

あなせん

「あなせん」は、2005年に始めたアナウンサーによる言葉の出前授業です。子どもたちのコミュニケーション能力向上のために企画され、フジテレビの放送圏内（関東1都6県）で展開しています。2015年夏には、技術チームと初めてコラボしました。

対象

小学校3年
～5年生

■ 2015年度の実績

17回 約1,800人

■ これまでの実績

(2005年～2015年度末)

173回 約11,700人



技術とコラボした「特別授業」

食育出前授業

「ハロー!どっこくん」

全国で活動範囲拡大

季節の食材をバランスよく食べることや運動の大切さを未就学児に教える食育出前授業を行っています。アナウンサーによる大型紙芝居の読み聞かせやうんちのキャラクター「どっこくん」の体操などで構成されています。2015年度は愛媛県、福井県、三重県に初めて伺いました。



©フジ・メディア・ホールディングス/CSR2010

フジ・メディア・ホールディングス各社

FNSチャリティキャンペーン

2016年度の支援国 トーゴ共和国

FNSチャリティキャンペーンは、「世界の子どもたちの笑顔のために」をメインテーマに行っているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社およびBSフジが放送などを通じて日本ユニセフ協会と連携し、40年以上にわたって実施しています。これまでの募金総額は約41億円。2015年度は、マダガスカル共和国の子どもたちを支援しました。



2015年度の
募金総額

5,458万7,213円

最終寄付金額 4,973万9,917円

集まった募金は公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援のために活用されます。

2016年度の支援国トーゴは西アフリカの大西洋沿いに位置する小さな国で、2011年の貧困率が58.7%と最貧国の一つに挙げられています。また、年間約2万人の5歳未満の子どもがマラリアなどで死亡しています。

■ 顕彰制度を通じて社会に貢献

高松宮殿下記念世界文化賞

「高松宮殿下記念世界文化賞」は、公益財団法人日本美術協会（総裁 常陸宮殿下）により1988年に創設された、全世界の芸術家を対象にした顕彰制度です。賞は絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の5部門で、1997年には「若手芸術家奨励制度」も創設されています。受賞者には金メダルと賞金が授与され、これまでの受賞者数は26ヶ国、139人です。



フジサンケイグループの取り組み

地球環境大賞

「地球環境大賞」は、フジサンケイグループが「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、世界自然保護基金（WWF）ジャパン（名誉総裁・秋篠宮殿下）の特別協力を得て、1992年から継続している産業界を対象とする顕彰制度です。2016年4月に第25回の授賞式が行われ、今では日本を代表する環境顕彰制度として広く社会に定着しています。

